

（午後2時40分 再開）

○議長（中本正人君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番5、6番 小林君。

〔6番（小林 弘君）登壇〕

○6番（小林 弘君）皆さん、こんにちは。

半年ぶりのご無沙汰でございます。一生懸命と質問させていただきたいと思っております。

私の質問は、大きく二点でございます、一つ目は、毎度毎度よう質問しとることなんですけれども、樋門周辺水害対策の進捗状況についてということで、①紀の川左岸大谷樋門と書いているんですけど、大谷川樋門前及び岸上橋周辺の雑木伐採の予定について。②大谷樋門築堤フラップゲート設置について。③紀の川砂利しゅんせつについて。④学文路小学校プール水害対策の進捗状況について。

2です。ウォーキングの需要とウォーキング効果の拡大について。

①ウォーキングによる健康推進について。

②ウォーキングによる観光振興についてということで、よろしくお願いを申し上げます。

○議長（中本正人君）6番 小林君の質問項目1、樋門周辺の水害対策の進捗状況に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（塙阪 隆君）登壇〕

○建設部長（塙阪 隆君）樋門周辺の水害対策の進捗状況についてお答えします。

紀の川左岸大谷樋門前及び岸上橋周辺の雑木伐採の予定については、本年度、国土交通省に要望を行い、大谷樋門前の一部区域の雑木について伐採が完了しています。なお、当

該箇所の残りの区域と岸上橋周辺については、減災の観点から、今後も引き続き国に対し強く要望してまいります。

次に、大谷川樋門築堤フラップゲート設置については、大谷川増水による近隣住宅側への越水や、住宅側からの放流水路が逆流することによる浸水被害を防止する目的で、和歌山県の事業で築堤とフラップゲート設置が計画されています。県に問い合わせたところ、現在、国土交通省等関係機関と協議調整を行っているところであり、本年出水期までに工事を完了する予定であると聞いています。

次に、紀の川砂利しゅんせつについては、大谷樋門をはじめ周辺地域の浸水対策に有効であるとの考えから、現在、国土交通省等関係機関と協議を行っているところです。

○議長（中本正人君）教育部長。

〔教育部長（森中寛仁君）登壇〕

○教育部長（森中寛仁君）次に、学文路小学校プール水害対策の進捗状況についてお答えします。

学文路小学校のプールについては、すぐ横に大谷川が流れており、また、校舎と違い川の堤と高さがほとんど変わらない低地にあるため、大雨等により川が増水した際には常に水害が発生するおそれがあり、過去には2度浸水被害を受けています。

1度目は平成23年9月の台風12号の際、また、2度目は平成25年9月の台風18号の際に、いずれも大谷川があふれたことにより、プールやプールサイドなどが泥水につかり、後の清掃や消毒など、復旧させるために相当な時間と労力を費やしました。

また、その際、プール用トイレもつかり、

汚物が流れ出す被害もあったことから、現在は、万一水害が起こっても同様の事態が起こらないように、そのトイレは使用せず、少し距離は離れていますが、校舎のトイレを使用しているのが現状です。

しかし、残念ながら、この水害を防ぐとなると、プールを一定の高さの塀で完全に囲ってしまうか、もしくはグラウンド側の高い場所にプールを移設するなど、いずれにしても多大な費用がかかることが見込まれ、現状の市の財政状況からすると、すぐには根本的な対策をとれないのが現状です。

現在、優先順位をつけ、校舎の外壁の改修と体育館の整備を進めているところです。

そのため、今後も同様に、浸水による被害を受けるような事態が生じた場合には、清掃や消毒を十分行い、また、汚れて使えなくなったプール用備品があれば、新しくきれいな物に買いかえることにより速やかに復旧させていくことが、残念ながら現実的な手法であると考えていますので、ご理解をお願いいたします。

○議長（中本正人君）6番 小林君、再質問ありますか。

6番 小林君。

○6番（小林 弘君）どうもありがとうございます。

この大谷川周辺の水害については大変大きな問題でありまして、日頃は小さなことからこつこつとやっておりますが、これ、大きなものを解決したいと思うのは、非常に日頃から思っておる次第でございます。

質問なんでございますけども、河川内の雑木伐採により、減災にどのような効果が期待できると考えますか。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）河川内に雑木とい

すけども、まず、洪水時に流れを阻害するというか、これがまず考えられると思います。それから、雑木があることで土砂が堆積をしまして、その結果、川底が上昇して河原が固定すると。そういったことで、最終的には付近の堤防に多大な影響が出てくるということも考えられます。また、その木が倒れますと、それが流れていって、下流にあります堤防でありますとか、橋梁に悪影響を及ぼすと、そういったことが考えられると思います。

そういった影響も防止する意味で、この雑木の伐採というのは、かなり効果があるのかなというふうに考えております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

日頃、樋門周辺、また岸上橋をよく通るわけですけども、南馬場運動公園から大谷川樋門にかけての雑木は、ちょうど大谷川樋門のほうにごみが寄ってくるような形状になっておるということで、本来ならあそこにたまるべきものではないものがしっかりとまってしまっ、しかも樋門の周辺であるということから、それが大きく影響しておるとは思えないが、大きな水害がここ5年ほどの間に2回ほどあったということだと思います。

僕が議員になったときに、すごい問題あったのは、紀陽団地の浸水の問題でありまして、住民の方々から強く、小林君、市会議員になったんであれば、この水害をどうか解決してほしいということと言われておりますので、部長が言ったように伐採にはさまざまな効果が期待されますので、来年度も引き続き継続するよう、国への要望をしっかりとさせていただきたいと思っております。つい最近も住民の方から、小林君、お前はしっかり動かな、もう来年ないでと言われるんよ。一生懸命言いますと。また議会のほうで言わしていただきますんで、よろしく申し上げますと、毎度毎度頭

下げておる状態でございます。

そして、樋門周辺雑木伐採以外、浸水対策で、ほかに何か実施される予定のものはありますか。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）樋門周辺の浸水被害の軽減ということで、河床のしゅんせつの工事なんですけども、これが和歌山県のほうで行っていただいております、既に大谷樋門から学文路小学校の付近まで終了しているというふうに聞いております。今後、小学校付近から上流の南海の軌道の交差部までの間なんですけども、これにつきましても3月中に実施をするというふうに聞いてございます。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

しっかりとそれもやっていただきたい。もう5月、出水期までにはやっていただけるということでよろしいですか。

次に、3月までにできるんじゃないかなと期待しておったんですけども、フラップゲートが設置されると洪水時の操作や維持管理はどこが行っていただけるのか、よろしく願います。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）県で設置していただいておりますので、維持管理については県のほうでやっていただくということになります。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

次に、大谷川樋門築堤フラップゲートとの築堤の位置で、大谷川からの越水にどの程度の高さまで対応できるのでしょうか。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）聞いておりますのは、まず、今回施工されます築堤の天端なんですけども、今まで河川の増水で越水してお

りました水路から約1.7mぐらい上がるというふうに聞いております。近隣に畑があるわけですけども、その地盤、高さのところまで高さが上がるというふうに聞いております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

住宅側には既に常設のポンプ1分10tが2台が設置されておる状態です、よろしいですね、今。ゲリラ豪雨対策が1分6tでしたでしょうか。この築堤とゲート設置により、住宅の浸水被害軽減に非常に有効と考えます。県には出水期までには確実に設置、築堤していただけますように、またしっかりとお伝えしていただきたいと思っております。

最後になるんですけども、フルーツラインもできましたので、当然、大谷川へ流れ込んでくる水の、これからのゲリラ、平成27年9月、関東東北豪雨において、栃木県日光で551ミリという雨が降ってます。当然、この橋本市も大台ヶ原を起点に雨のよく降る地域ですので、フルーツラインの水が一気に大谷川の支流というのかな、流れ込んでくるので、そういうのもしっかりと注意していただいて、今後とも裾に、大谷川樋門周辺もしくはその近隣の住宅に被害が及びませんように、しっかりと努力していただきたいし、県、国のほうにもしっかりと要望していただきたいと思っております。

最後に、紀の川砂利しゅんせつについては、紀の川の流下能力を回復させ、水位を下げたり、洪水時の川の正常な流れを保つことで、樋門への影響を軽減するなど、浸水対策に大きな効果が期待できると考えております。関係機関との協議調整が難しい案件とは思いますが、今後実施に向け強く要望していただきたいと思っておりますので、よろしく願いを申し上げます。

この大谷川の樋門の周辺の話はこれで終わ

らせていただきます。

○議長（中本正人君）次に、質問項目2、ウォーキングの需要と効果の拡大に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

〔健康福祉部長（石橋章弘君）登壇〕

○健康福祉部長（石橋章弘君）ウォーキングによる健康推進についてお答えします。

健康増進と生活習慣病対策のための運動習慣の定着を目的とし、本市においては、和歌山県国民健康保険調整交付金を活用し、平成16年度からウォーキング事業を実施しており、これまで延べ約9,000人の方のご参加をいただいているところです。

このウォーキング事業は、ウォーキングが好きな方、友達と話をしながら日頃の運動不足を解消したいと思っている方などを対象に、7月、8月を除く毎月第3金曜日に市内10コース、約4kmを1時間かけて歩くウォーキングイベントとして開催し、多くの市民の皆さまにウォーキングを継続して実践してもらうための機会を提供しています。

事業の運営につきましては、市民ボランティアと橋本市が協働で実施しており、市民ボランティアの方々にはウォーキングコースの選定、コースの下見、ウォーキング当日における運営及び参加者の安全な誘導等にご協力をいただいているところです。

また、市の保健師・看護師も、血圧測定や体調不良を訴えた方の対応等に当たっております。

議員おただしの、市内の歴史的な旧街道をウォーキングすることにより、楽しみながら健康維持を図るような取り組みについてですが、コース選定は市民ボランティアの方々の自主性にお任せしており、その中には、議員ご提案のような旧街道をコースに含むものもあり、また、コース設定には、それぞれの地

域の特徴が体感できるよう工夫がなされています。そのため、参加者には楽しみながら健康維持を図っていただいているものと考えております。

また、ウォーキング事業の成果ですが、毎回約100名の参加者があり、年齢に関係なく、いつでもどこでも無理なく続けることができる有酸素運動として実践できるウォーキングの機会を提供することで、健康増進への意識改革、さらには医療費削減に向けた取り組みの一助となっているものと考えております。

○議長（中本正人君）経済推進部長。

〔経済推進部長（笠原英治君）登壇〕

○経済推進部長（笠原英治君）ウォーキングによる観光振興についてお答えします。

本市は、古来より大和街道と高野街道が交差する交通の要衝として栄え、周辺には歴史的文化遺産やすばらしい景観、魅力ある食文化など、地域資源がたくさん存在します。

これらの地域資源を活用し、平成27年度よりスポーツツーリズム事業の一環として、河南エリアを対象としたウォーキングイベントを開催しています。また、昨年10月には、世界遺産に追加登録されました黒河道を活用したトレッキングイベントも開催しました。これらのイベントでは、できるだけ市外からの誘客に努め、本市の魅力を知っていただくため、ボランティア観光ガイドによる個別ガイドや地元商業者等による物産販売ブースでのおもてなしにも力を入れ、交流を深めています。

今後の取り組みとしては、河南エリアに限らず市内全域を対象とし、各地域の観光資源を訪ねて歩く、特色あるウォーキングイベントを開催し、交流人口の増加と地域活性化を図っていきたいと考えています。

○議長（中本正人君）6番 小林君、再質問ありますか。

6番 小林君。

○6番(小林 弘君) すいません。ちょっと慌てておったんでプールのこと聞くの忘れてって。えらいすいませんでした。

もうウォーキングのほうへ変わってしまったんで、ウォーキングの質問をさせていただきます。

まず、ウォーキングによる健康推進について質問させていただきたいんですが、高齢化社会に向かって進んでいる中、橋本市も他人事ではないと思います。医療費等の福祉にかかる予算が年々増え、市の財政も余裕がない折、できる限り病院にかからず、健康でいただくことが、ご本人にとっても市民にとっても大切であります。

健康寿命を延ばすための取り組みについて、ウォーキング以外に行政としてどのような取り組みをされていますか。

○議長(中本正人君) 健康福祉部長。

○健康福祉部長(石橋章弘君) 健康増進という観点から、日頃から運動習慣を身につけていただきたいということで、本市では、ボールやチューブを使ってエクササイズを行うというチャレンジ教室、あるいは健康についての認識を深めていただいたり、健康についてのさまざまな知識を持っていただくという目的でヘルスアップ教室、あるいは高齢者の方々を中心とし、踏み台運動を中心としたげんきらりー教室というのを実施しております。

また、平成29年度にラジオ体操を広めたいということで、現在、健康福祉部の職場からモデル的に取り組んでおります。地域でのラジオ体操普及のため、啓発活動を平成29年度に行っていきたいと予定しております。

○議長(中本正人君) 6番 小林君。

○6番(小林 弘君) ありがとうございます。

健康福祉部のウォーキングということで、ちょっと何かこういうポイントカードみたい

なものもいただきました。参加されている方におかれましては、それは橋本市内以外でも参加は可能なんですかね。その中で、市内・市外の割合というのは、どれぐらい今、来られているんでしょうか。

○議長(中本正人君) 健康福祉部長。

○健康福祉部長(石橋章弘君) 現在、今市内・市外別のデータは手元に持ってございませんが、ほぼ市内の方々というふうに認識してございます。

○議長(中本正人君) 6番 小林君。

○6番(小林 弘君) 部長、こういうらくらくウォーキングデーということで、ポイントカードあるらしいです。僕も参加したことないんで、ポイントもらったことないんでわからないんですけども、これ、満タンになりますと何か特典ってあるんですか。

○議長(中本正人君) 健康福祉部長。

○健康福祉部長(石橋章弘君) そのデータのなもの、ちょっと手元に今資料持ってませんので、後ほどご答弁させていただきます。

○議長(中本正人君) 6番 小林君。

○6番(小林 弘君) 健康面もそうなんですけども、後からの話になるんですけども、観光としてウォーキングするのとかということで、こんなも何か特典がちょっとでもあったら、人間ってお得感あるのかなという感じは大変します。なかなかそういうの、何をいただいていたかというのは難しい話ですけども、今、朝ドラ誘致の前畑さんの煎餅であるとか、はたごんぼの袋入りのあられを二つぐらい、一人の方に食べていただくとか、そういうのも、健康を増進しながら宣伝効果もあるんじゃないかなと考えますね。僕的には。

それで、今後こういうウォーキングをどんどん企画していただいて、行政的にも大変だとは思いますが、橋本市民の高齢者の方の健康増進に、ますますと貢献していただ

ますようお願いを申し上げます。

次に、観光のほうでちょっと質問をさせていただきたいのですが、本年度橋本市がかかわった観光ウオーキングイベントをたくさん行ったと思いますが、どのようなものがあったのか具体的に教えてもらえますか。

○議長（中本正人君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）まず、昨年8月から9月にかけて、ダイヤモンドトレール、「自然・歴史・地域めぐり」と題しまして、これはダイヤモンドトレールというのは、大阪府、奈良県、和歌山県の府県境の和泉山脈の尾根をずっと歩いていくわけなんです、これを五つのエリアに分けて縦走しております。それと10月には、はしもと歴史いきいきウオーク、これは河南エリアを中心に、初心者と中級者のコースに分かれて、市内外の方が参加しております。227人参加しまして、このイベントは盛況に終わっております。9月3日、4日にかけて、高野口にぎわいフェスタでは、JR高野口駅を起点としまして、目の前の葛城館であったり、前田邸、高野口小学校、裁ち寄り処なんかに寄っていただいて、最終的に九度山の道の駅、それとか真田ミュージアムに行ってくださいような、そういうイベントを開催しています。11月には嵯峨谷里めぐりハイキング、これは紀望の里から山村交流センターまでの行程を526の方が歩いていただきました。その同じ月に、黒河道世界遺産登録記念のトレッキングを行って、133の方が参加しています。

これからの予定としては、大畑才蔵学びウオーキングであったり、もう一度黒河道、今度は高野山からおりてきてもらう、「太閤秀吉の下山路と久保小学校の桜」と題して4月に予定しております。

全体で4,000人以上が、統計とれた範囲では参加しておるのではないかとというふうに考え

ております。そのうちのだいたい3割程度、1,200人ほどが市外の人やというふうに推測しております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

先にちょっと再質問をやっていきたいと思っております。

県外・市外の方が参加いただければ、地元消費拡大につながりますし、橋本市のPRにもなると思います。そこで、本市では市外・県外向けにウオークイベントの情報を、どのような形で、周知、情報発信をされておりますでしょうか。

○議長（中本正人君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）例えば、はしもと歴史ウオークでしたら、これは企業スポンサーにもなっていていただいておりますイオンが、柏原のイオンモールであったり、堺市の北花田イオンモールでチラシをまいていただいています。ほかにも南海電鉄の情報誌「n a t t s」って毎月出しておるんですけど、そういった情報誌やJRの西N a v i情報誌、これは全て無料の情報誌なんです、こういったところでイベント情報を掲載していただいております。

あと、鉄道会社と協賛でやっていくイベントについては、車両のつり広告とか、主要駅で駅貼りなどしていただいております。他にも報道資料なんかで新聞掲載なんかもしていただいております。

また、ダイレクトメールなんかで、参加していただいた方に、もう一度過去のウオーキングに同じように参加していただけませんかというメールも送らせていただいたりしております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）答弁お聞きするにあたり、いろんなウオーキングのイベントをたく

さんやっただいてという中で、イオンさんのご協力いただいて、部長とお話ししておるときに、ちょっとしたものも出してくれたりとかいうお話も聞いております。

この橋本市は、京大坂高野道と五條から来ておる紀州街道、大和街道、反対になったら大和街道、伊勢街道というんですかね。こんな街道の交差点であって、応其上人が開いたまちでもあるということで、かなり歴史的にいいものがたくさん僕はあると思います。

それで、担当課のほうでお話ししておるときに、これも応其寺さんのほうに担当課から確認をとっていただいて、豊臣秀吉から送られたけさがあるということをお聞きさせていただきました。そういうものも聞いて、僕、知らなかったんでね。いっつも勉強足らずであかんなと思いましたが、すごいものあるんやなと思って、隅田から考えると、万葉の飛び越え石があって、国宝のある隅田の八幡さんがあって、それで道中、真土、隅田になるんでしょうか、それで中島とか中下になるんでしょうけど、その箇所、箇所ですらいろいろなおもしろいところ、多分地元の方に聞いたら、もっと橋本市にあるん違うんかなと思うんですよ。

ほんで、下兵庫まで下ってくると、くらがりというところがあって、何でくらがりって言うんよと、僕もはじめてあそこの名前聞いたときに、くらがりって暗いんやろうなというふうに思いました。何でくらがりって、どんな昔にいきさつあったんかなって、いっぱいその地域、地域でおもしろいネタというのがあると思うんで、そういうのをまず散策しながら、僕は五條からでも構へんと思う。起点が五條から始まってもええし、まだもっと向こうから始まってもええですし、こっちはまあ言うたら河内長野、まだ越えて、向こうから越えてくれても構へんと思いますけども、

そういう街道というのは他市のほうからとかもあるんでね。

ほんで、僕、ちょっと三日市のお店、よう行くんですけど、そこには常夜灯の置いたところがあるわけなんですけども、ああいうのも地元の大工さんなんか協力していただいて、設計図さえあれば、木材は提供していただいてつくれば格安につくっていただけるのかなと思います。

街並みつくっていくというのは、当然、行政にかかわってほしいですけど、自分らのまちは自分らでにぎやかにしようかという気持ちがないと、観光ということで今言わしてもうとるんで、そういうのも地元の人間も頑張らなあかんと思うこともありまして、このウォーキングを観光に持っていかれへんかなと思うて、はじめ質問させてもらうにあたって、健康のことも一緒に、ともにさせていただいたんですけども、この橋本市の地域、地域のおもしろいところをもっとピックアップしてもらえそうな手だてというんですか、大きなところはもうわかってるんですよ。飛び越え石、八幡さん、護国寺ですかね。あそこも国の重要文化財か何かになるんかな。それよりも、あそこの店の何々おいしいとか、あそこの角のおっちゃんおもしろいとか、そういう簡単な、何というか、地域密着したおもしろいネタを拾い上げてもらって、ウォーキングの途中でいろんなおもしろいことを語りながら、ここはこうやで、ああやでと言いながら行くようなことをやっていただけたらおもしろいかなと思うんですけど、部長、どんなもんですかね。

○議長（中本正人君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）議員おただしのように、本当に、ただ単に歩くというのは、健康のためといえども非常に辛いと思うんです。そういう状況の中で、いろんなポイン

トを、しかもそれがいろんなストーリーがあって、地域のそういった名物があって、そういうところを経由しながら歩くと、自然と長い距離を歩いておった、自分も健康の意識が高まったと、そういう状況に本当になると思っています。

そういう意味で、今言われましたように橋本市は旧街道の要となる、そういう大きな旧街道の交差点でもありますし、そういう状況、一つは昔の歴史ウオークという形で作り上げていくのも一つの手かなと思っています。そのときに、街並みの雰囲気、ちょっとだけ住民の方、地域の方に協力いただいて作り上げていくとか、あと、そういうことを、ストーリーを知っておる人にガイドしてもらおうとか、そういうことは非常に大事やと思っています。

そういうことも含めて、今後検討していきたいと思っています。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

部長すません、細かいことが気になるんですわ、これね。特に橋本は、この前も和歌山大学の先生の講習の中で、この橋本市は三波川帯というんですかね、緑色結晶片岩というのかな、そういうのがもともとある地帯であって、それが風化すると赤土に変わるんやというような説明してくれてました。ほんで、雲母のようにはがれるような石であって、それを石垣に使っておる家というのが、かなりこの橋本市なんかあると思うんですけど、そういう石垣めぐりするようなことも、僕はおもしろいなと思うんですよ。この地帯の地質はこの石で、ここらはこの石を使って石垣を組んでいますと。ほな、その石垣のきれいな家ってたくさんありますわ。橋本市内。そういうのも一つの、発信すれば観光になるんかなと。

ほんで、今テレビでこの前もやっておりま

したが、ご朱印は当然皆さん知っておられると思うんですけど、ご朱印があるというて、今、ご朱印に回られる女性の方も多にお聞きしておるんで、お寺さんにおもしろいもん、この前も地元のご住職に、何かおもしろいご朱印つくったらわという話してたんやけども、そういうのも観光になりますし、そういうのでウオーキングしていただいて、市外から来ておる、市内はもちろん協力してくれるでしょうけど、市外から来てくれた人に、本当に外へ発信をどんどんしていただいて、橋本市の石垣、こんなおもしろいのいっぱいあるらしいというて、そういうのがまた市外に伝わっていったら、また一つの目玉になっていくかなと僕は思う。単純な思っておることだけで、何かそこら歩いておるところに、おもしろいネタというのはたくさん落ちているんかなと思います。

テレビでこの前、ゆるキャラのねばー君が、今、全国ゆるキャラをずっとやっていて、そのブームがちょっと終わってきたんで、なくなっていくゆるキャラがたくさんあるというのをやってましてね。ねばー君が、どんどんいろいろやんな僕らもあかんのですってテレビで言うてましたよ。

そやから、どんなことでもいいんですけど、橋本市も、ちょっとしたことで僕はええと思うんですわ。本当にどこで、世界で有名なミュージシャンが「いいね！」してくれて、今のP P A Pみたいにぐっとヒットする可能性があるんで、常におもしろいこと発信していただきまして、もうたわいのない質問になってしまいましたけども、これからも橋本市、地域ナンバーワンの市になりますように心からお願いを申し上げまして、質問を終わらせていただきたいと思っています。

本日はありがとうございました。

○議長（中本正人君）ちょっと待ってください



い。答弁もれがあります。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（石橋章弘君） すいません。

先ほどご質問いただいた、らくらくウォーキングのカードの件でございます。10回目で記念タオルをお渡しする、20回目でクールマフラー、その後、10回を重ねるごとに記念タオルというような粗品をお渡ししております。

以上です。

○議長（中本正人君） 6番 小林君。

○6番（小林 弘君） どうも部長、終わろうかいなと思ったんですけど、ありがとうございます。

本当に健康の面、また観光の面で、ウォーキングというのは一番軽い運動で平地を歩いていく、街道はたいがい平たんなところあるので、もういろんな方に来ていただいて、歩いていただいて、再発見していただけますように心からお願いを申し上げます。

ありがとうございました。

○議長（中本正人君） 6番 小林君の一般質問は終わりました。

この際、3時30分まで休憩いたします。

（午後3時19分 休憩）